

令和元年第3回今帰仁村議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和元年9月6日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 散 会 日 時 及 び 宣 告	開 議	9月13日 午前10時00分		
	散 会	9月13日 午前11時30分		
出 席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	島 袋 誠	8	與 那 勝 治
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
	3	與那嶺 透		
	4	座間味 薫	11	嘉 陽 崇
	5	座間味 邦 昭		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠 席（不応招）議員	10	與 儀 常 次		
会 議 録 署 名 議 員	3	與那嶺 透	11	嘉 陽 崇
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	我那覇 尚 一	書 記	松 田 洋 子
	局 長 補 佐 兼 議 事 係 長	玉 城 民 枝		
地方自治法第121条に より説明のため議場に 出席した者の職氏名	村 長	喜屋武 治 樹	経 済 課 長	久 田 哲 史
	副 村 長	謝 花 良 竹	住 民 課 長	仲 村 美奈子
	教 育 長	玉 城 奎	福祉保健課長	宮 里 政 有
	総 務 課 長	我那覇 隆 文	幼 保 連 携 推 進 室 長	宮 里 晃
	企画財政課長	田 港 朝 津		
	学校教育課長	桃 原 秀 樹		
	社会教育課長	嘉 陽 健		
	建 設 課 長 兼 水 道 課 長	嶺 井 雄 二		

令和元年第 3 回今帰仁村議会定例会

議事日程第 4 号

令和元年 9 月 13 日（金曜日）

1. 開 議 午前 10 時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		一般質問	
2		会期延長の件	

○ 座間味 薫 議長 おはようございます。ただいまの出席議員は10名です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

(開議時刻 午前10時00分)

日程第1. 「一般質問」を行います。

9番山城 太議員の発言を許します。9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 さきに通告しました件について、質問いたします。

村管理道路について。排水溝に土砂等が堆積し、雨天時に雨水が溢れ出し通行に支障をきたす場所があるが対策を伺います。また、排水溝が道路右側から直角に左側へ横断するように設置され、その影響で雨量の多い時期には個人有地への大量の雨水が流れ入り、土地を侵食し土砂崩れを起こした危険な場所がある、その対策・対処の見解を伺います。

②観光振興について。村の観光振興の具体的なビジョン、取り組みを伺います。

③教育行政について。北山学園プロジェクトの現状を伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 皆さん、おはようございます。9番山城 太議員の質問事項①村管理道路についてお答えします。

村としまして、大雨後、台風後はパトロールを行い現場確認を行っておりますが、全箇所及び十分な確認が行えていないのが現状です。今後は、区長及び住民からの情報収集を行い十分な対策に努めていきたいと思ひます。

排水路の横断については、村に何箇所かあると把握しております。今後は、道路整備等の補助事業を行う場合に変更を考えていきたいと思ひます。

質問事項②観光振興についてお答えします。

「自然と歴史とロマンに満ち躍動するむら」を基本理念とし、豊かなむらづくりを目指し、各施策に取り組んでいるところです。

現在、今帰仁村では「古宇利島ハーフマラソン」などの各種イベントによる誘客や、村商工会及び村観光協会との連携により、ふるさと納税返礼品事業の実施、村観光協会では民泊事業を展開し、村のPRに取り組んでいただいているところです。

北部連携促進特別振興事業による古宇利島観光拠点施設の整備を着実に進め、クルーズ船寄港に向け取り組んでまいります。今後も関係団体などと連携を図り村の魅力向上と観光関連事業の効果が高められるよう取り組んでいきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 おはようございます。それでは9番山城 太議員の質問事項③教育行政についてお答えします。

質問要旨の北山学園プロジェクトの現状について、「キャリア教育」を核に継続して取り組んでいるところです。

主なものとして、保育園・幼稚園での「わらべうた」実践事業、小中学校でのキャリア教育に対する

コーディネート等の支援、学習支援員及び特別支援員の配置、中高生対象に、海外短期留学派遣事業等を行っております。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 まず1点目のほうから質問いたします。

これも具体的な対策ですが、側溝に土砂がたまって対処はどのようになされるんですかね。具体的に説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 9番山城 太議員の質問に対して説明いたします。

今までは重機をリースして、側溝、土砂を取るような方向でやっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 そう言われておったんですけれども、先日、課長のほうに写真を見せたんですけれども、お墓に全部流れていくんですね。この側溝が詰まってしまって、赤土土砂もそういった情報がある中、早急な対策が必要だと思うんですけれども、そのあたりのお考えを。それと、そういったお墓に全部行くわけですよ。墓の主、そこで眠っている方、家族、どのような思いなのか。察したことがあるか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

議員に写真を見せられて、現場を確認しました。側溝があって横断されているグレーチングの側溝が詰まって、機能していない状況でありました。お墓に流れるというのをきのう確認して、重々感じております。早急の対応を重機でやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 村内には2カ所かあると思うんですけれども、この確認した場所、早急な対策とおっしゃるんですが、いつごろ予定するか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

重機を借りてということになりますので、ちょっと予算も検討しながら対策をしていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 現場を確認されたと思うんですけれども、お墓に流れていつているわけですね。この場所は。ほかの場所はそうでもないかもしれないんですけれども、家族の心情とか、ここに眠る方の心情。自分がそういう立場だとどのようにお思いになりますか。そういう状況に陥ってほしくないと思いますけれども、そういうことで早急な対策を具体的に再度、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時07分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時09分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

早急な対応ですが、予算範囲内で小さいものはやって、大きいものはまたちょっとあれですけれども、議員がおっしゃれるものに対しては対応していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 これは中身の土砂を見ると結構、たまっているのは結構な月日経っているからこそだと思うんですが、これはパトロールと書いてあるんですけれども、パトロールしているにもかかわらずそういう状況が起こっているわけですよ。このパトロールというのはどういう意味なのか。チェックしていればそしてチェックして異常があれば定期的に掃除するなり、やっていけばそういう状況には陥らないわけですね。後から大きな予算も出ないわけですね。その辺どうお考えなのか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時12分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時12分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

パトロールをやって気づいてないのではないかという趣旨の質問だと思いますが、村としましては、先ほど村長の答弁がありましたように、大雨時、台風の後、大雨の後にパトロールをしていますので、水が抜けたりしている状況もあります。それでちょっと気づいていないところもあるかなと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 見落としはあるとは思いますが、こちらは毎回毎回そういう状況に陥っているわけで、見落とすこと自体がおかしい場所ではないかなと思ってはいるけれども、このパトロールが体をなしていないのではないかなというふうに変な疑いも持つんですが、これは結構な場所にそういう場所があるんですね、詰まっている場所が。先ほども言いましたけれども、そういうパトロール、これは車の中からやるんでしょうか、確認を。実際そういう箇所があれば実際降りて目視して写真を撮ったり、そういうパトロールを行っているのか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

詰まったり明らかにわかるところは写真を撮ったり、応急措置を行ったり、先ほども申しましたように水が引いたりして車でパトロールをするという状況であります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 水がたまっていなければ、降りてわざわざ確認しないということで理解してよろしいでしょうか。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

水がたまっていないところはそのままパトロールを素通りと言うか、車で確認するだけになっておりま

す。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 そういところが積もり積もって後々そういう状況を起こすわけですね。しっかりとそういう場所は降りて確認するべきではないかなと思ったりしますが、忙しい傍らでそういうパトロールを行うかもしれませんが、そういう状況が起こった後、先ほど言いましたけれども、後で大きな予算が出ることになるわけですね。常日ごろからそういうパトロール的な行動さえとっていれば。そして少しでもたまっていれば簡単に掃除ができると思うんですけれども、今後もそういう状況で以前同様なパトロール体制で進んでいくのか、改めるのか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

村長から答弁ありましたように、100%こちらで確認することは不可能かと考えておりますので、区長なり住民なり、情報を収集しながら強化していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 その辺よろしくお願いします。

再度質問しますが、これなんです土砂崩れも起こっているわけですね。この起こった原因というのはこの排水路を設置したからなんですね。多分そのために水が行かないように流れ入らないように土のうを置いているわけですね、役場が。こういった場合には責任の場所というのはどのように扱われるのか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

排水路については、村の財産ということになりますので、この村からの排水のせいで土砂が崩れたということになりますと、ちょっと村も対策を取らないといけないのかなと感じております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 その場所を確認されたことはありますでしょうか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 話は聞いておりますが、担当で対応しているところで、自分としてはまだ確認しておりません。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 これは道路整備の補助事業を行う場合に変更を考えるとあるんですが、その補助が受けられるまでそういう状況をほったらかして、全て土地が流れ出た場合には土砂崩れでなくなった場合にはどうなさるんですか。その辺答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時18分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時18分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

早急にちょっと現場を確認して対応策を考えていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 私が言ったとおりですね、この排水溝のせいでそういったものを確認できた場合には、どうなされるのか答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 予算もかわることなので、この辺はちょっと財政と調整しながら対策を検討していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 対策検討の中に補償ということも含まれるというふうに理解してよろしいですか。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 先ほど申しましたように、ちょっと現場を確認して検討していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 以前に職員を呼んで写真も撮らせたんですけども、その後そういった確認はなされていないということで理解してよろしいでしょうか。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

担当も確認して、それ以降はちょっと進捗していないのかなという感じはしております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 状況を説明して、私のほうで。地主のほうも説明したようですけれども、その後何も確認しないで、土地が侵食されていくわけですね。個人の財産ですよ。それはまだ確認していないというのは、どうにも納得がいけないんですけれども、大事な財産ですよ。なくなってからどうしようもないですよ。忙しいのもわかるんですけれども、住民の財産を守るのも役場の大切なお仕事だと思っているんですが、その辺どうお考えか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

先ほど申しましたように村の排水が個人有地に被害を与えているということなので、現場を確認して早急に対応していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 ぜひ早急な対策、対処をお願いしたいと思います。

次の質問に入ります。2点目の観光振興についてであります。第3次今帰仁村観光リゾート振興計画があるんですけれども、以前に私…、ちょっと休憩をお願いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時22分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時22分)

9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 すみません、以前にユニバーサルツーリズムについて質問したことがありまして、その答弁の中で、情報収集関係機関との連携を進めているところございまして、踏まえて今後、進めていきたいというふうにあるんですよ。以前の答弁に。今回の観光リゾート振興計画にはそういうことの文言が一切ないんですね。バリアフリーと言うのは1カ所にありました。ユニバーサルツーリズム、高齢者や障害者の旅行ですね。その受け入れ、それに関して村はどういうお考えなのか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時24分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時24分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいま9番山城 太議員の質問に対しまして説明いたします。

以前にユニバーサルツーリズムの質問があったことは理解しておりますけれども、この第3次今帰仁村観光リゾート振興計画の9ページにバリアフリーを含めたユニバーサルデザインの検討が必要であるというふうに、9ページの右上のほうに記載しております。それを踏まえて、今回、古宇利島の観光拠点施設の中でも、コンサルと調整して進めているという状況でございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 私の見落としでありました。申しわけないですね。これは高齢者とあるんですが、障害者とか最近では盛んにそういったツアーがあるんですけれども、どのようにお考えなのか。これを何か見た限りでは健常者目線だと、感じるんですね。この策定委員を見ても、老人会長、副会長ぐらい、あとは福祉保健課長もいるんですけれども、そういった障がい者施設、福祉関係に携わっている方々も入れるべきではなかったのか。入れないのであれば健常者目線だけですよ。健常者だけというのも、あまりふさわしい言葉ではないと思うんですけれども、もっとそういう方々の声を広く意見を聞くのがよかったんじゃないかなと今さらですけれども、よかったのではないかなと思うのですが、その辺どうお考えか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

おっしゃるとおり昨今、そのような状況の中ではございますけれども、その中で担当課長のほうからユニバーサルデザインをしっかりとということも意見がございましたので、それを踏まえて進めている状況でございます。ただ、議員がおっしゃるとおりそのようなところももう少し細かく見てればという感じもいたしますけれども、また今後検討していきたいというふうに考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 すみません、検討していきたいという内容、その辺の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 質問に対しまして説明いたします。

次期そのような委員とか、そういった中で招集することがあれば、そのような方の目線も大事でございますので、その中で可能な限り検討していきたいというふうには考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 私の感覚ではそういった方々ももっともっと入っているのが普通だと思って、今のような発言に至っているわけですが、ぜひそういった方々、今後もそばの36ページにあります民間組織とありますよ。そういった方々が福祉関係とか、そういった施設に携わっている方々、そういう方々が含まれるのが望ましいのではないかなと思ったりもしますが、再度答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問について説明いたします。

おっしゃるとおり多種多様と言いますか、たくさんの方々の、意見を聞くことによっていろいろなバリエーションがあった設計等ができるのではないかと今思っていますけれども、可能な限り今後、そういった施設が計画されるのであれば意見をちょうだいして設計に反映させていきたいというふうに考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 ぜひですね、そういった方々が訪れやすい今帰仁村。そして今帰仁村の観光であってもらいたいと思いますので、ぜひ強くその辺は要望いたします。休憩をお願いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時29分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時30分)

9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 次に、北山学園プロジェクトの現状について。

教育行政について伺いますが、今月の広報なきじんで、北山高校の夢咲塾からのお知らせということで、英語講座開催しますとありますね。休憩をお願いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時30分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時32分)

9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 すみません、ちょっと資料が行方不明になりまして、去年の6月ぐらいですかね、そういった教室を設けられないかというふうに質問しました。そしたら考えていないと。民間で対応してくれと。民間を活用してくれと答弁があったんですけども、この1年でどのように変わって、どういう過程で、この英語講座が開かれるようになったのか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時32分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時33分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの9番山城 太議員の質疑についてご説明申し上げます。

英語につきましては、夢咲塾の中でも月1程度、ALTが参加してボランティアで行っているということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時33分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時33分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

昨年ですかね、質問があった件でなぜ今、講座が開かれているのかということでございますが、毎週集中的にやっているということではなくて、月に1回程度の夢咲塾の中での英会話というところで頻度もそんなに月1程度ですので、多くないというところでプログラムとして組んでいるという状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 別にこの塾、講座が大変いいことで、悪いとは言っていないですよ。喜ばしいことですよ。しかし、考えていないと昨年答弁があったんですよ。民間を活用してくださいと、私は頻度とかそういったのは質問はしていないですよ。しない、考えていないと断言して、民間を活用してくださいと答弁があったんですよ。わかりますか、言っている意味。この講座はとても私は喜んでますよ。嬉しいんですけども、何か釈然としないんですよ。民間を活用してください。しかし1年後やります。提案した私はもうもちろんこれを聞きながら、本当に何回も言いますよ、喜ばしいことだと理解しています。自分も行きたいぐらいですよ。民間はどうなるんですか。前回の答弁、民間を活用してくださいというのは。その過程を再度詳しく説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質疑について説明します。

まず今現在といたしましても英語に特化した公営塾というのは考えておりません。考え方としても、民間の塾。あとサークルの活用を勧めているところでございますけれども、公営塾の中の一つのプログラムとして行っているというところで、英語に特化して行っているということではありませんので、それも頻度もそんなに高い頻度でやっていくということでもございませんので、この辺をご理解いただきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 英語に特化していないのになんで英語講座なんですか。英語に特化していないでしょう。しかし、英語講座でしょう。ちょっと私の考えはおかしいんですか。理解能力が少ないのかわからないんですけども。英語講座というのは日本語でやるんですか。英語ですよ。英語の講座ですよ。英語に特化していないんですか。ちょっと休憩していいですか。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時38分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時41分)

玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 今の山城 太議員の質問にお答えしたいと思います。

9月からというのも私も存じ上げております。英会話を夢咲塾の基本的な考え方として北山高校、村内の高校生の受験支援でありますとか、学習支援が主なんですけど、そのほかにもゼミとか開催しているんですが、そのような考え方のもとでゼミにも北山高校以外にも私も参加したことがあるんですが、一般の方々をお招きして、この生涯学習的な観点からもあるんですが、いろいろやることがあります。そこで今回、英語の講座と書いてありますか。英語講座と書いてあるんですが、広く村民の方にも呼びかけている

ものだと思います。それで彼らがそこを夢咲塾の活動の一環ではあるんですが、本来的には高校生支援だけではなくて村民へのサービスあるいはほかの地域の方々へのサービスとして英会話、今やはり英語に興味関心のある方はどうぞ垣根を少し低くしてそこに来ていただくという取り組みだと理解しております。そこでALTの活用なんですが、実は現在、講師のお二人は英語専門ではありません。それでALTの方をお願いして彼らもその契約業務の中にはないんですが、ボランティアとして参加していただいて、村民の方が広く英会話に親しむということで、このような講座を開いているものと理解しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 今、教育長の言い方では、この英会話講座とかそういった話に開催に当たっての英語の講座の相談とか、そういった開催に当たってのミーティングとかそういった話は参加されていないようなニュアンスで聞こえてくるんですけれども。では向こうの塾講師がこれは勝手にと言うのはおかしいのですけれども、やっているということによろしいですか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問に説明いたします。

夢咲塾のほうから事前にこういうことをやりたい。英語ではなくて、レゴブロックのものも一緒に出ていたと思うんですけれども、こういうことをやりたいのでちょっと広報に載せてもらえないかという相談。今回、夏休みにも中学塾と称して夏休みの1週間、中学3年生を対象に塾を行っております。そういうことも事前にこういうことをやっていきたい。進めていきたいという相談は事前にあります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 これは公営塾だと思うんですけれども、これは電話連絡とかそれぐらいでやっていいですかみたいな感じであったんですか。呼んで、一緒に席でこういうぐあいになろう。あいうぐあいにしようとかそういった話し合いをなさらないで、つくられているわけですか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問について説明いたします。

これについては塾、毎週火曜日に教育委員会のミーティングを行っておりますが、そこに夢咲塾も参加してもらっています。と言いますか、毎回ということではないんですが、その中でミーティング終了後にこういうことを今後進める方向として、こういうこともやっていきたいという相談があって、その中で子供たちの勉強にいい方向に進むものについては、どんどん進めていきたいというふうに話し合いながら進めているというところでございます。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 これはミーティング終了後、そういう相談があったというわけですか。ミーティング中ではなく、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問について説明いたします。

ミーティングは教育委員会、学校教育課、社会教育課、幼保連携推進室、合同でミーティングをしてい

ますので、その後に個別の案件として話し合いを持っているということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 個別の案件とは何ですか。これは正式な相談と捉えてよろしいんですか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問について説明いたします。

ミーティングはまず課内職員に対する周知事項等々をやって、意見を聞いたりするんですが、それが終わった後に個別にと言いますか、社会教育課、幼保連携推進室と給食センターも来ますので、みんな解散した後にしているということでございます。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 あまり理解できないんですけれども、この講座に関しては先ほど何回も言ってますけど大変喜ばしいことだと思うんですけれども、いまだに釈然としないんですけれども、再度聞きますけれども、ちょうど広報に載っているような内容で多分去年も聞いたと思うんですけれども、別に英語のうまい、下手は別にしてそういった講座、塾とか開けないものか、設置できないのかと聞いたんですけれども、先ほども何回も言いましたけど民間を活用してくださいと。頻度もそんなに私は言っていないと思います。この週1回ですよ。再度聞きますけれども、なぜそこに至ったのか、もう一度わかりやすく説明してください。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

これまで月1程度行っていたALTのボランティアによる英会話というところで、夢咲塾のほうでもちょっと発展的なところで考えて、今回の講座と言いますか、ゼミ的な要素もありますので、そこで開催していると認識しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 いいことだからあまり言わないんですけれども、これは講座は子供からお年寄りまで年齢を問わないわけですね。これは県立北山高校内に行くわけなんですけれども、高校のほうとか県のほうには確認なされているのでしょうか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時50分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時50分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

まず北山高校のほうには、塾のほうで調整は行っております。ただ、県のほうに確認できているかという、県まではいっておりません。施設に関しては校長の権限で使用については許可できるというところもありますので、こういう講座をやっていきたいというところで、校長の了解が得られれば可能ということで理解しております。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 ちなみにですけれども、この公営塾の責任者といいますか、管理者はこの塾

講師でありますか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 運営に当たりましては、塾長の平岡が行っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時51分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時52分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

先ほど申しましたように、塾の運営については塾長、講師でもあります平岡でございますが、最終的に設置者である教育委員会が責任者ということになるかと思えます。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 であるのであれば、教育委員会がいろいろ主導してやるものではないのかなと思ったりもするんですけども、全てにおいて、と私は思います。そちらはどう考えているかはわからないんですが、任せきりなのかも、今の状況では向こうに任せきりですね。そういう管理のあり方でのろしいんでしょうか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時53分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時56分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

塾のほうに丸投げと言いますか、任せきりではないかというご質問の趣旨かと思いますが、これは定期的に先ほども言ったように夢咲塾とのミーティングを行っております。その中でこういうふうにやっていきたい。こういうプログラムで考えている等々の意見を聞きながら運営方針というのを話し合いをしながら進めているということでございます。ただ、細かい運営については、塾長の判断に任せている部分もあります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 あまりわからないんですけども、いいですけども、今、夢咲塾の学生は何名利用しているのか、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

8月末現在で36名在籍しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 塾の講師は何名いますか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 塾の講師はただいま2名でございます。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 2名で足りていますか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

36名に対して2名で十分足りているかということでございますけれども、厳しい状況の中でございますが、2名で頑張っているというところでございます。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 2人で厳しい中、英語講座。負担増ではないでしょうか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

この英語講座については、ALT2名なり3名、あとは謝名Englishからもボランティアの応援で入ってくれるという話もありますので、その辺は負担増とは考えておりません。ある程度の負担はあると思いますが、極端に負担増ということは考えておりません。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 講師の人数も把握されていないわけでしょう。ボランティアで何名か来るという話でしょう。そこら辺ですよ。塾に丸投げ、何しているんですか。はっきりと答弁できないんだっただらさせなければいいじゃないですか。何ですか、数名とか。ALTも何名いるの。アクシデントありましたよね、負担かかるわけでしょう。負担かかって体調崩したらそのケアはどうするんですか。教育委員会でもっともんでしっかりやらないと、向こうまかせにしてどうするんですか。そこら辺ですよ、私が言っているのは。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

ALTは村に2名おりますので、2名が中心となって行うわけですが、これにプラスアルファ謝名Englishからも参加してくれるということで、謝名Englishから参加してくれる人数については、把握しておりません。そのときの状況にもよろうかと思います。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 先ほどALTは2名から3名と言っていましたよね。何で急に2名に減ったんですか。そこら辺の答弁をしっかりとどうするんですか。説明不十分ではないですか。それはいいんですけども、教育委員会がもっとリーダーシップを発揮しないといけないんじゃないですか。北山学園プロジェクトは教育委員会が主導ではないんですか。その辺、どのようにお考えか教育長の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 ただいまの質問についてお答えします。

教育委員会のリーダーシップ発揮ということなんですけれども、この特に北山塾の本来的な業務に関してやっていたもの以外というか、さらに彼らが意欲を持って村民サービスをしている。このことに関して我々としては、これから先ほどありました本人たちの負担増にならないものか、労働環境を考えながら密に連携をとりながらこうしてせっかく立ち上げて村民のために、子供たちのためにやっている事業をだ

めにならないように、我々の先ほど申し上げたようにリーダーシップというのはしっかり發揮して、今の提言を受けてやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 これまで月 1 回ほどのミーティングだと聞いていたんですが、じゃなかったですか。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時04分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時05分)

9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 この塾講師は地域おこし協力隊と理解しているんですが、今の 2 人は任期どれぐらいあるのか。それと地域との交流、どういったぐあいで図られているのか。地域おこし協力隊というのは、移住を考えて、そして地域の方々と連携やいろいろな交流を図りながらというのがあったと思うんですが、私は一度も会ったことはないんですけれども、紹介もされたこともないんですけれども、皆さんは会ったことも交流もあるかもしれないんですけれども、その辺の感覚をどのように考えているのか。どうなっているのか答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

任期については 1 名、塾長のほうが今年度合わせて 2 年、もう 1 名が今年度合わせて 3 年ということになっております。地域との交流ということでございますが、ゼミの開催も行っております。それも地域の方が参加をしてもらいながらのゼミでございますので、その辺でつながりはあるのかなと考えております。

○ 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 ゼミでの交流が地域との交流と捉えているわけですか。仕事での交流ではないですか。地域との交流というのは、何も無いところ、イベントのエイサーとか何か祭りとか飲み会とか、地域に入り込んでいくのが交流ではないですか。ゼミでの交流、これが一般での交流ですか。地域おこし協力隊というのは移住を考えている方々が多いと思うんですけれども、そういう文言があったと思いますけれども。ゼミに行かないと交流できないわけでしょう、今の言い方では。地域との交流ってそういうぐあいの解釈でよろしいんですか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時10分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時12分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

議員がおっしゃるように地域おこし協力隊というのは、一般的に地域に入って一次産業、二次産業、いろいろ全国的にありますが、今帰仁村においてただいま地域おこし協力隊を活用して公営塾については、子供たちの学習支援というところをもって地域おこしという考えのもとから移住・定住も可能であればそれが一番ベターだと思いますけれども、地域おこし協力隊という制度を活用して塾を運営しているという状況でございますので、一番は塾の運営ということが彼らの業務といたしますか、そういうことでございま

す。地域に入り込んでエイサーをしたりというところも望ましいことではありますが、こちらから強制できるということではありません。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 先ほども言いましたが、今も答弁もあったんですけれども、子供たちの塾でのあれが交流と、各種講座を開くのが地域との交流と、教育委員会はそういう解釈でなされているわけですか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

個々に地域に入っていったということも交流ではありますけれども、このゼミを開いて塾生以外の方が入ってきて、そこで交流するのも一つの交流ではないかと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 一つの交流というのはどういう意味でございますでしょうか。答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時14分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時16分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

一つの交流というのはどういう意味かということでございますが、交流の仕方というのは多々あると思います。その中でゼミを開いて地域の方々が参加してくれるそういう意味での一つの交流ということでございます。

○ 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 夢咲塾も英語講座もいろいろ喜ばしいことなんですけれども、この塾は高校生対象なんです、小学生・中学生に対してもそういった公営塾、毎回聞くんですけれども、設置準備してあげるとか、提供してあげるとか、そういうお考えはまだありませんか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

先ほどもちょっと紹介させてもらいましたが、本夏休みに1週間、3年生を対象に夏期の中学生塾を開校しました。その流れと言いますか、これで今、中学校のほうと調整中ではございますが、月曜日は5校時で部活が休みということも聞いておりますので、月曜日の5校時に学習の補習的なところをできないかという調整はしているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 私が言っているのは北山高校内の夢咲塾的なものです。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 説明いたします。

中学校で夢咲塾のような公営塾を開校できないかということでございますが、現在のところ2名講師がいて、北山高校の魅力化事業の中でやっておりますので、現在のところは考えておりませんが、検討する

余地はあるのかなというふうに考えております。

○ 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 ではなぜ県立北山高校内に今帰仁村が公営塾をつくって、今帰仁村立の中学校、小学校には公営塾をつくらないのかと答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 ただいまの山城 太議員の質問にお答えいたします。

中学校に北山高校の支援している夢咲塾みたいなものを考えないのかとあったのですが、そのご案内のとおり夢咲塾のスタートのときの考え方が北山高校の存続、そして理数科の存続の危機ですね、そのあたりの北山高校への魅力化事業の支援としてのものがあります。今議員おっしゃった中学校への支援というのは、今度は中学校の学力向上の支援として少し夢咲塾が持っている性格と少し違った考えでもいいのかなと思うんですが、中学校の学力に関しての課題というのは、私共も把握しておりますので、どのような支援ができるかというのは今夢咲塾のほうでは先ほど課長からもあったように、毎週月曜日に何とかできないかということで学校と調整しております。さらにそこでの実践あるいは実践できたときの課題をしっかりと捉えてそこで発展できるのかどうかということを考えながらこれからちょっと検討していきたいなと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前11時23分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前11時25分)

9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 先ほど教育長のほうからですね、当初の北山高校の存続のためにもとあったんですが、これからはすごい少子高齢化が進む中で、多分いきなりきつくなるかと思います。その中で先に小学校、中学校、そういった塾、学力を定着させて取り組むのも一つの手ではないかなと考えたりするんですが、先日の一般質問の中でも今年度でしたか、出生数ですか62名ですよ。そういう状況のもとで村内だけの十何年後の村内だけのこの生徒では北山高校はますます危機的な状況になると思います。先に仕掛けて学力を本当に定着させる。どこに行っても恥ずかしくないような生徒をつくり上げて外へ羽ばたかせるのも一つの手ではないかなと考えるんですが、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 ただいまの質問にお答えします。

北山高校の存続問題、そのあたりからの関連もあるんですが、現在、本村の今帰仁中学校からの北山高校への進学者が50%を切っているというのはご案内のとおりだと思います。しかし、北山高校へのまずは普通科なんです、普通科への入学者はどうかというと、定員は若干切ることはあるんですが、普通科自体はそんなにまで存続の危機はないです。そこになぜ言いたかったか、これはいろいろな考えがあるんですが、北山高校の魅力があるということで、今帰仁中学校から1区割合の生徒以外の他市町村から来ているという。私たちがちょうど高校生のころとはやはり環境は変わっていて、今帰仁村はみんなほぼ北山高校へ行くという時代ではなくて、今子供たちが全て自分の進路を選択をしっかりとやって、学校を選択しているということになっていますので、今、本村として取り組んでいるキャリア教育はそのあたりはすごく

いいのかなと思います。自分たちがなりたい自分。なれる自分というのをしっかり広げていって、そこから自分に適した進路を選択していく。それが高校の選択にもつながっていておりますので、そのところはやはり本村が力を入れているキャリア教育にしっかり力を入れていって、この子供たちが自分の将来にしっかり見合った選択ができるような施策をこれからも取り組んでいっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 これからも北山学園プロジェクトの教育等々の充実を図っていってもらって、地域の子供たちの学力向上に向けて取り組んでいってもらいたいと思います。以上で終わります。

○ 座間味 薫 議長 以上で、山城 太議員の一般質問を終わります。

日程第2. 「会期延長の件」を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、9月19日までと議決されておりますが、熱帯低気圧の台風16号への発達が見込まれ、9月定例会の運営に支障を来すことが考えられるため、9月30日までの11日間、延長したいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって会期は9月30日までの11日間延長することに決定しました。

なお、9月17日以降の本会議は台風の動向を確認の上、本会議を開きたいと思います。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

これで散会いたします。

(散会時刻 午前11時30分)